

<士官学校長ゲイル・ホワイト少佐の2021年5月16日(日)のメッセージ>

わたしが子どもの時、ベッドで寝る前に母がよく聖書の絵本を読んでもくれました。その絵本でわたしが一番好きだったのは、イエス様が扉を叩いている絵でした。それは、イエス様がわたしたちの心を叩いてくださる姿を描いたものです。わたしたちが心の扉をイエス様に開くなら、わたしたちは救いに入ることができるのです。なぜなら、イエス様だけが唯一の父なる神に至る道だからです。世界では神に通じる道にはいろいろあると言われていますが、ヨハネ 10:9 でイエス様は「わたしは門である。わたしを通して入るものは救われる」と言われています。イエス様だけが道なのです。救われるということは、さまざまな危険から救い出されて、安全な場所に置かれる、という意味です。そして、イエス様こそ安全な場所への道なのです。羊を飼う時に、羊は柵の中に入れますが、羊飼いは柵の門のところに横たわって番をします。柵の中に入るには、羊飼いを飛び越えなければなりません。そのように身を挺することによって羊飼いは羊を守るのです。羊飼いであるイエス様は、柵の中にいるわたしたちの安全を守ってくださいます。イエス様はいつもわたしたちと共にいてくださいます。世界は常に変わり続けていますが、わたしたちに対するイエス様の思いは変わることが無く、わたしたちの安全と安心を永遠に保障してくださいます。わたしたちには永遠の命が与えられ、神様と一緒に過ごすことが約束されているのです。イエス様はわたしたちに最善のものを与えようとしておられます。イエス様はわたしたちの人生を満ち足らせてくださる方です。人生の満足を求めて、ある人はお金を追求し、ある人は物質を追求し、ある人は学歴や資格やキャリアを追求します。しかし、それは上手く行きません。神様を求めてイエス様に出会う時にのみ、わたしたちの心の飢え渴きは満たされ、ほんとうの満足を経験することができるのです。世の中にわたしたちをほんとうに満足させるものは、イエス様以外にはありません。イエス様は、わたしは命を与えるために来た、しかも豊かに与えるためである、と言われました。そのように約束し、かつ、約束を実現することができるお方はイエス様だけです。わたしたちの人生で欠けているピースを満たすことができるのはイエス様だけです。わたしたちはイエス様を通じて神様との関係に回復されることのできるのです。もし今日、イエス様があなたの心の扉を叩いていると感じるならば、どうか心をイエス様に対して開いてください。イエス様はあなたに安心と安全を与えてくださいます。